

サプライチェーンマネジメントの期待効果

	在庫がなぜ減る	納期がなぜ短くなる	納期遵守率がなぜ上がる	売上・利益がなぜ増える	工場数がなぜ減る	物流センター数がなぜ減る	コストがなぜ削減される	顧客サービスレベルがなぜ上がる
理由その1	需要予測の精度が上がれば誤差を吸収するための在庫は少なくてよい	プランニング期間を短縮することで一回あたりの製造規模が小さくなり、その結果市場への出荷回数が増すから	ATP機能備え、それを使って納期を確認しながら受注するようになるから	キャッシュの回転がよくなるから(スループットが上がるから)	工場の真の生産性が向上して集約される	物流拠点の数で需要に対応するのではなくサプライチェーン全体の回転率向上で対応するようになるから	サプライチェーン全体の生産性が向上するから	注文充足率が向上するから: ・需要予測の精度が上がって ・製造配分、在庫配分が適正化されて ・Demand Pullによって ・欠品率ミニマムによって
理由その2	TOCペ - スドでの在庫計画により制約となるサプライチェーンの前以外に在庫を置かない	バッチサイズ・ロットサイズを小さくする結果、物の動きが速くなる	同時並行計画により調達から納品までの計画を一気に作ってしまうから基本的に予定通り納入となる	制約となっているチェーンの稼働率が上がるから	適正な製造配分の結果、集約される	在庫が削減される結果、在庫場所としての物流センターのトータルスペースは削減される結果	在庫が削減され、在庫の維持&管理費が削減されるから	
理由その3	同時計画により在庫期間が短くなり結果的にサプライチェーン全体の在庫は減る	制約となるサプライチェーンの前以外の在庫が減って物の動きが速くなる	SCMでは実オーダーのほかに需要予測分、在庫補充要求分をふくめて計画する(Demand Pull)、その結果、引合い時、オーダー受注時に需要予測分をそのオーダーに引当することで納期は遵守される	最適製品ミックスをはじめ、売上・利益最大という目的関数を満たす計画でサプライチェーン全体を運営するから	サプライチェーン全体としての生産性向上により無駄な生産能力が削減されるから	物流センターとしての回転率向上(ex.クロスドッキングなど)の結果	工場数、物流センター数が減るから	顧客側における在庫回転率が向上する
理由その4	プランニング期間短縮、バッチサイズ・ロットサイズを小さくする結果、在庫は減る	同時平行計画で、業務処理の変更・追加・手戻りが少なくなるから		注文充足率が上がるから	製造のリードタイムが短縮され結果的に製造の回転率が向上するから	スピード重視の経営姿勢の結果、工場から顧客への直接納品が増えるから	手戻り・追加・変更対応業務負担や重複業務が軽減されるから	ATP・CTPなど納期回答の迅速さと正確さにより
理由その5		制約となるサプライチェーンが明らかになってその改善が進むから	プランニングの精度が向上するから納期の精度も上がる	顧客に対するサービスレベル(納期短縮・納期遵守・納期回答・多頻度小口納品・時間指定納品、etc.)が上がる結果、競争優位が強化され注文が増える		サプライチェーン全体として物流機能が集約されるから	配送効率・車両積載効率が向上するから	納期短縮・納品リードタイム短縮により
理由その6				価格が下がり競争優位となるから		適正な在庫配分で無用の在庫が減る結果	計画作成に要する負担ほか業務費用が軽減するから	多頻度小口納品に対応できるようになるから
理由その6				在庫陳腐化コストが大幅削減されるから			余分な残業時間が削減されるから	

